湯沢町ファミリー健康プランとは…

■健康は目標ではなく、暮らしを支える〝資源〟のひとつ

湯沢町では「健康」を、何かを達成するための目標（ゴール）ではなく、日々の生活を支える大切な〝資源〟のひとつとして捉えています。





推進委員会の様子

健康づくりに関心のある人も、そうでない人も、子どもから高齢者まで誰もが元気に暮らせる町、そして必要な時にはお互いに支え合いながら生きていける町をめざしています。

令和５年、湯沢町ファミリー健康プラン推進委員会は、その取組を評価され、第一生命保険株式会社が主催する「第 75 回保健文化賞」を受賞しました。



その姿を表すメインスローガンが

「自然を大事に　人にやさしい　ふれあいのある元気な町」です。

■住民主体の健康づくりを展開しています

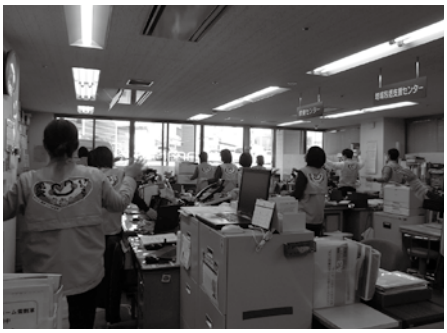
湯沢町の健康づくりの特徴は、住民が主役であることです。

第１次プランの推進時から大切にしてきた

① 町民とともに取り組む協働活動

② 町民主体の健康づくり

この２つの考え方を、今もプランの根幹に据えています。



毎朝のはっぴーハートソング

特に、第１次プランで確立した「推進委員でもある住民自らが地域に出向き、プランを広める」という手法を継続し、町民と関係機関が協働しながら、めざす姿に向かって活動を展開してきました。



未成年飲酒予防・喫煙予防教室



アンケートの協力依頼の様子

推進委員が地域の声を集め、活動を企画し、現場で実践することで、町民の生活に寄り添った健康づくりが広がっています。

